

「残暑お見舞い申し上げます」

8月8日は酷暑まっただ中ですが、暦の上では「立秋」ということで、「秋」という文字を見るとホッといたします。

「夕立」という言葉が「ゲリラ豪雨」に変わり、30℃の真夏日に加えて35℃の「猛暑日」というフレーズが躍る時代となりました。

政治・経済・社会状況の変化だけでなく、自然現象も様変わりとなり、昭和は遠くになったものと、諦めに似た心境で感慨に耽っています。

不注意で右足指を骨折し、先日ようやくギブスが取れまして、足を引きずり仕事をしています。車椅子も経験し、街路や建物における身体障がい者設備のありようによくも気づかされました。早速に当社社屋の出入口床面を身障者対応に変更することにしました。

暑い毎が続きます、皆様にはご息災にて秋を迎えられますよう祈念申し上げます。(店主・岡本秀巳)

弊社夏季休業日 8月12日(日)~16日(日)、23日(日)、9月1日(火)・2日(水)

「雨中の山鉾巡行に供奉しました」

企業町衆の一員として永年にわたり支援してきました函谷鉾。

例年は店主が供奉してきましたが、本年は当社監査役の田邊文昭が参加しました。以下は雨中供奉の感想です。

7月17日に祇園祭(前祭)山鉾巡行が催行され、店主の代理で函谷鉾の一員として供奉いたしました。

当日は、早朝より袴の着付け、鉾の前での記念撮影等が行われ、いつの間にか各山鉾が四条通を埋めつくし、午前9時より先頭の長刀鉾から順次出発です。台風11号の影響による大雨にもかかわらず、四条通から河原町通、御池通の沿道には多くの観光客が詰めかけていました。

くじ改め、御旅所参拝を肅々と執り行い、行列は四条河原町交差点へ。いよいよ、辻回しです。

普段は、多くの車が行きかう交差点ですが、この日は通行止めが行われ、交差点中央に進むのは行列のみ。まるで舞台のようです。

地上五階建てビル相当の高さがある鉾の辻回しは圧巻の一言に尽きます。

その後行列は、少し進んでは止まり、長く止まっては少し進む?!という感じでした。

今回長い歴史を持つ祇園祭山鉾巡行に参加したことで、改めて京都というまちの重みを実感することができました。そして、普段の仕事を通じ、このまちに貢献していきたいという思いを強くしました。

(監査役・田邊文昭/不動産鑑定士)

